

「心に残る文化財子ども塾」指導案

日 時：令和6年5月31日（金）

2校時（9:55～10:45）

場 所：島根県立盲学校

対 象：中等部2名

指導者：県立盲学校 教員

埋文センター職員

1 主題 古代の道具を知ろう

2 本時のねらい

発掘で出土した本物の土器や精巧に造られた模造品に触れ、形や重さなどを感じ取り、古代と現代の道具との違いを知ることで、古代に興味を持たせる。

3 本時の展開

時間	学習活動	指導者の支援及び留意点
9:55	あいさつ、紹介	
10:00	身近な遺跡を知ろう	<ul style="list-style-type: none">・居住地や学校に近い遺跡の話をする。・身近に昔から人が生活していたことを理解させる
10:10	1. 狩り・稲作の道具を知ろう ・石鏃 ・弓矢 ・石包丁	<ul style="list-style-type: none">・本物の遺物に触れることで印象を残させる。・事前到手洗いを行う・注意事項を理解させる。・資料の落下等に注意する。・石器でケガをしないように留意する
10:15・	2. 器の変遷を知ろう ・縄文土器 ・弥生土器 ・須恵器 ・陶器	<ul style="list-style-type: none">・土器の違いなど感じさせる。・特に重さ、表面の仕上げ方、硬さに気付くよう誘導する・資料の落下等に注意する。

10:25	<p>3. いろいろな道具に触ってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銅鐸（模鑄品） ・銅劍（模倣品） ・銅鏡（模鑄品） ・勾玉 ・手鏡 ・古銭 ・銀貨幣 ・古代衣装 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の落下等に注意する。 ・模鑄品でケガをしないように留意する。 ・古代衣装の着付けを補助する。 ・記念撮影を行う
11:40	4. ふりかえり	

4 準備物

（学校）遺物を置く長机3台、カメラ

（埋文）出土遺物、五徳、模鑄品、手袋、遺跡マップ、説明資料、アンケート用紙、カメラ、マスク、台車、わたぶとん、